

社会福祉



親子でつながる



たのしい子育て♪

ボランティア紹介リレー「さんSUN♡すまいる」(P12)

トピックス

- 令和6年度 事業計画、資金収支予算……………P2
- 第76回赤い羽根作品コンクール……………P5
- こども向けボランティア講座……………P7
- 支えあい通信「地域の『お宝』紹介(今伊勢町新神戸)」……………P9
- 学校の福祉活動紹介「木曾川高等学校」……………P13
- 令和6年度 新入職員紹介……………P14

令和6年度 事業計画

少子高齢化・人口減少、貧困問題、地域社会からの孤立などへの対応が求められている中、新型コロナウイルス感染拡大による社会情勢の変化が、住民相互のつながりの希薄化や生活困窮状態の深刻化を加速させ、福祉課題もより一層複雑・多様化しています。これまでの制度ごとの支援から、分野をまたがった総合的な支援と地域住民や多様な主体が「丸ごと」つながる支援へと転換することが求められています。

こうした背景の中、地域福祉推進の中核を担う社会福祉協議会の役割はますます大きくなってきています。そのため、本会は、みんながつながり支え合い、地域が織りなす共生社会の実現をめざし、以下の基本方針により地域福祉の充実に取り組みます。

<基本方針 (要約)>

1.地域課題への対応

- ・「属性を問わない相談支援」、「多様な参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する包括的な支援が円滑に進められるよう多機関協働体制の構築を図ります。
- ・地域での生活支援の仕組みづくりを関係機関と連携して進めます。
- ・「ふれあいいきいきサロン」の立ち上げや安定した運営ができるよう支援します。

2.地域福祉活動の推進

- ・支会活動の充実に努めるとともに、職員が積極的に地域へ出向き、支会との連携を深めます。
- ・ボランティア活動の啓発を図るとともに、各種ボランティア講座等を開催し、ボランティアの育成に努めます。
- ・高齢者、障害者、子どもなど誰でも一緒に参加できるスポーツ(ユニバーサルスポーツ)の普及に努めます。
- ・日常生活自立支援事業の周知に努め、判断能力が十分でない方が自立して生活できるよう支援します。

3.介護サービスの充実

- ・介護職員の人材確保を図り、収支改善を進めることで健全かつ安定した経営に努めます。
- ・職員の研修体制の充実に努め、資質向上に努めます。
- ・利用者から信頼される質の高いサービスを提供します。

4.安定した相談支援体制の確立

- ・在宅の障害者の地域生活を支援するため、障害者とその家族等からの多岐にわたる相談に応じ、関係機関と連携して問題解決に取り組んでいきます。
- ・障害者がある能力や適性に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう的確なケアマネジメントを行い、質の高い相談支援サービスを提供します。

5.法人運営の強化

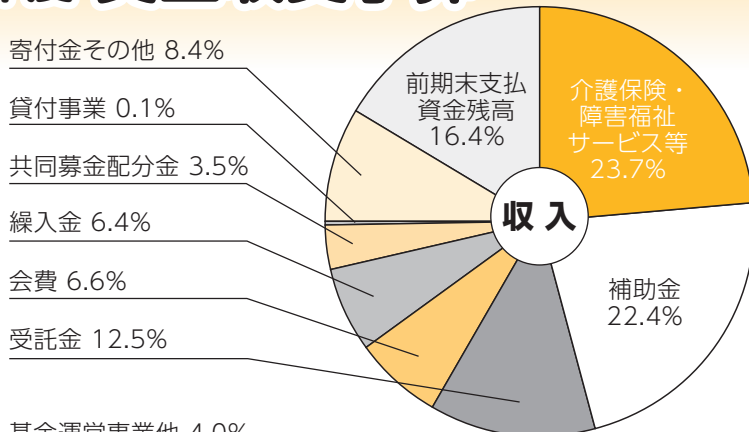
- ・法人の経営組織の強化及び事業運営の透明性の向上を図り、信頼される法人運営に努めます。
- ・災害ボランティアセンター立ち上げ訓練等を実施し、職員の災害時における危機管理意識を高めます。

令和6年度 資金収支予算

収入

(単位：千円)

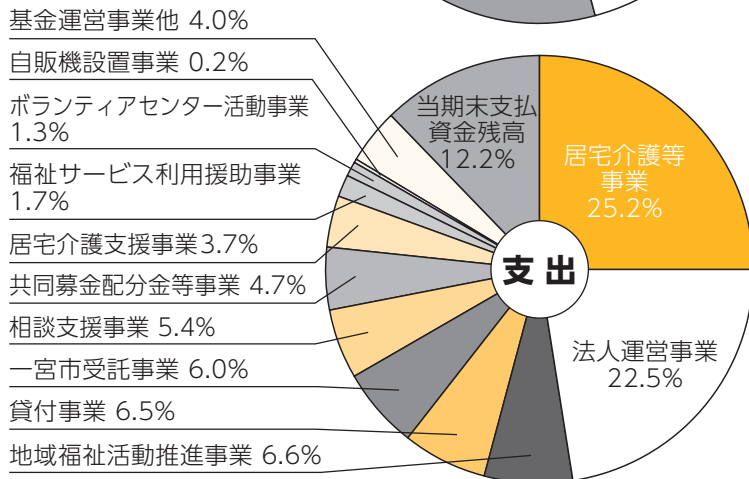
介護保険・障害福祉サービス等	190,017
補助金	179,618
受託金	100,417
会費	52,565
繰入金	51,315
共同募金配分金	27,804
貸付事業	756
寄付金その他	67,595
前期末支払資金残高	131,017
合計	801,104



支出

(単位：千円)

居宅介護等事業	201,969
法人運営事業	180,402
地域福祉活動推進事業	53,210
貸付事業	51,672
一宮市受託事業	48,014
相談支援事業	43,213
共同募金配分金等事業	37,480
居宅介護支援事業	29,756
福祉サービス利用援助事業	13,517
ボランティアセンター活動事業	10,891
自販機設置事業	1,434
基金運営事業他	31,791
当期末支払資金残高	97,755
合計	801,104



善意のご寄付ありがとうございました

令和5年12月1日～令和6年3月31日現在

合計1,444,509円

(敬称略・順不同)

エス・ビー建材(株) / びさい消費者の会 /
 (株)一宮看板店 / 木曾川商工会 女性部 /
 一宮起工科高等学校 生徒会 / (株)壱番屋 /
 豊田合成(株) 尾西工場 / 尾張中小企業協会 /
 (株)琥珀観光 / (一財)荒川磯慈善会 /
 中部経済新聞社 尾張支社 / 21世紀女性の会 /
 一宮地区ボランティア集団 /
 一宮市グラウンド・ゴルフ協会 / 他匿名3件



子どもたち
からのお礼
のお手紙

エス・ビー建材(株)様は、「一宮市の児童福祉に役立ててほしい」という思いから、定期的にご寄付をしてくださっています。いただいたご寄付は、市内の児童養護施設に入所している子どもたちのために使わせていただいています。いつもあたたかなご寄付をありがとうございます。

災害義援金へのご協力ありがとうございました

お寄せいただいた義援金は、中央共同募金会や、被災都道府県共同募金会を通して、全額被災されたみなさまへ届けられます。

令和5年6・7月大雨災害義援金 / 令和5年台風13号災害義援金 /

※令和6年能登半島地震災害義援金

※の義援金は引き続き募集しておりますのでご協力をお願いします。



ボランティア保険のご案内

● ボランティア活動保険

ボランティア活動中に、ボランティア自身がケガをした(傷害事故)、他人にケガをさせてしまった、他人の物を壊してしまった(損害賠償事故)などの事故を補償する保険です。

☑ 年間保険料(1人あたり)

	A プラン	B プラン	C プラン
基本プラン	250 円	300 円	500 円
天災プラン	400 円	500 円	800 円

補償期間
加入日翌日から
令和7年3月31日まで

天災プランとは 地震・噴火・津波によるケガも補償するプランです。

● ボランティア行事用保険

ボランティア活動に関する各種行事における主催者および参加者のケガや賠償責任を補償する保険です。

☑ 保険料(1人あたり)

日帰り				宿泊
A 行事	B 行事	C 行事	現地集合行事	1泊2日～
30 円	127 円	248 円	30 円	222 円～

補償期間
行事開催期間中

★受付窓口：本部・尾西支部・木曽川支部

★加入申込書には代表者の押印(または署名)が必要となります。なお、法人で加入される場合は必ず印鑑をお持ちください。

災害発生!

そのとき社会福祉協議会は…

大規模災害が発生した際、被災地の復旧・復興にはボランティアの力が欠かせなくなっています。社会福祉協議会は、全国の市区町村にあり、一般的に大規模災害時には、災害ボランティアセンター機能を担うことになっています。災害時にボランティアの助けが必要な場合、社会福祉協議会にご連絡ください。

また、社会福祉協議会は全国組織であることを生かして、遠方の被災地へ応援職員の派遣も行っています。最近の例では「令和6年能登半島地震」において、愛知県からは石川県珠洲市に職員派遣が行われており、本会からも複数名の職員が交代で入っています。応援業務の報告は本会ブログに掲載していますので、ぜひご覧ください。



珠洲市災害ボランティアセンターの様子

本会のブログ(<https://jp.bloguru.com/138sk>)⇒



第76回

赤い羽根 作品コンクール

<作品大募集>

【応募期間】

7月1日(月)～8月16日(金)

【受付時間】

午前9時～午後5時15分(土日、祝日除く)

※提出先は下記<留意事項>をご覧ください。

募集作品

【書道の部】

小学校3・4年生
小学校5・6年生
中学校1～3年生

「ぼきん」「赤いはね」「たすけあい」から1点
「共同募金」「赤い羽根」「思いやり」から1点
「共同募金運動」「赤い羽根募金」「地域福祉活動」から1点

<注意点>

- ①用紙は書道用半紙とする。
- ②書体は問わず、墨書でたて書きとする。

【ポスターの部】

小学校1年生～中学校3年生

「たすけあい」「社会福祉」「赤い羽根」「共同募金」などの意味を含んだもの。

<注意点>

画用紙の大きさは四つ切(54cm×38cm程度)とする。規格以外の画用紙を使った場合は対象外となります。

☆応募作品は**各部とも1人1点**に限ります。重複して提出しないようご注意ください。

優秀作品の展示もありますので、たくさんのご応募をお待ちしています。



<留意事項>

- ◎市内在住・在学の方が対象です。
- ◎下記の申込書を本会ウェブサイトからダウンロードし、作品の裏面右下にのり付けしてください。
- ◎作品の返却はしません。
- ◎**直接窓口にご提出ください(郵送不可)**。

※提出先は下記①～③です。8月16日(金)受付時間までにご提出ください。

①本部

〒491-0858 栄3-1-2
(尾張一宮駅前ビル4階)

②尾西支部

〒494-8601 東五城字備前12
(尾西庁舎4階)

③木曾川支部

〒493-0001 木曾川町黒田字西沼51
(高齢者生きがいセンター内)

138sk

検索

赤い羽根作品コンクール申込書			
ふりがな			
氏名			
住所	〒 見本		
電話番号			
学校名		学年	

<問合せ>

一宮市共同募金委員会
(社会福祉協議会内)

一宮市栄 3-1-2

(尾張一宮駅前ビル 4階)

TEL 85-7024





講座受講者募集!





点訳講習会(全10回)

「点字って難しそう…」そんなイメージを持っている方はいませんか?本講座は、初心者でも安心して受講できる内容です!

日 時	6月25日～9月3日 毎週火曜日 午後1時30分～3時30分 ※ただし、8月13日は除く		
会 場	社会福祉協議会 本部(栄3-1-2 尾張一宮駅前ビル4階)		
対 象	市内在住・在勤で点訳、ボランティア活動に興味がある方		
定 員	15名(応募多数の場合は抽選)		
受 講 料	無料(ただしテキスト代770円が必要です)		
申 込 み	6月10日(月)までに 下記URLまたは右記二次元コードから申込みフォームでご応募ください。 https://forms.gle/exZmDWWAcVx7ZTnLA		


文字で伝えるボランティア講座(全5回)

「聞こえない言葉」を「目で見える言葉」にして伝えてみませんか?

日 時	7月2日～7月30日 毎週火曜日 午後1時30分～3時		
会 場	尾西庁舎4階 会議室(東五城字備前12)		
対 象	市内在住・在勤で要約筆記に関心のある方		
定 員	10名(応募多数の場合は抽選)		
受 講 料	無料		
申 込 み	6月14日(金)までに 下記URLまたは右記二次元コードから申込みフォームでご応募ください。 https://forms.gle/wjnBDmA6D3W93X2y6		


手話奉仕員養成研修(入門)(全20回)

初心者・未経験者向けの講座です。一緒に手話を覚えましょう!

日 時	7月10日～11月27日 毎週水曜日 午後7時～9時 ※ただし、8月14日は除く	
会 場	尾西庁舎4階 会議室(東五城字備前12)	
対 象	市内在住で、聴覚障害の福祉に理解と熱意を持ち、受講後は手話奉仕員として活動できる方	
定 員	20名(応募多数の場合は抽選)	
受 講 料	無料(ただしテキスト代3,300円が必要です)	
申 込 み	6月21日(金)までに 下記URLまたは右記二次元コードから申込みフォームでご応募ください。 https://forms.gle/oJZLA3vAUcnvFX9Q6	

手話奉仕員養成研修(基礎)(全25回)

経験者向けの講座です。手話技術のレベルアップを目指しましょう。

日 時	6月25日～12月17日 毎週火曜日 午前9時30分～11時30分 ※ただし、8月13日は除く	
会 場	尾西庁舎4階 会議室(東五城字備前12)	
対 象	市内在住で、2年以内に手話奉仕員養成研修(入門)を受講した方、又は、手話サークルに在籍している方で、将来手話通訳者を目指す意思のある方	
定 員	20名(応募多数の場合は抽選)	
受 講 料	無料(ただしテキスト代3,300円が必要です)	
申 込 み	6月10日(月)までに 下記URLまたは右記二次元コードから申込みフォームでご応募ください。 https://forms.gle/Nrv5hxdHXjymMBC67	



こども向けボランティア講座



※申し込みは児童と保護者がよく相談し、必ず保護者が行ってください。

夏休みこども点字教室(全5回)

自分の好きな絵本で点字の本を作ってみよう！

日時	7月25日～8月29日 毎週木曜日 午後1時30分～3時30分 ※ただし、8月15日は除く
会場	高齢者生きがいセンター2階 介護用品展示室(木曾川町黒田字西沼51)
対象	市内の小学5・6年生 点字に関心のある児童
定員	13名(応募多数の場合は、初参加の6年生を優先し抽選)
受講料	無料
申込み	6月28日(金)までに 下記URLまたは右記二次元コードから申込みフォームでご応募ください。 https://forms.gle/ewGpnk3Dp6AVf4yQ6



夏休みこども手話教室(全5回)

手話で自己紹介にチャレンジしてみませんか？

日時	7月25日～8月29日 毎週木曜日 午前9時30分～11時 ※ただし、8月15日は除く
会場	尾西庁舎4階 会議室(東五城字備前12)
対象	市内の小学5・6年生 手話に関心のある児童
定員	20名(応募多数の場合は、初参加の6年生を優先し抽選)
受講料	無料
申込み	6月28日(金)までに 下記URLまたは右記二次元コードから申込みフォームでご応募ください。 https://forms.gle/ZALcFMQsHDLYpNzD9



こどもボランティアスクール(全4回)

ボランティア活動や福祉体験を行いながら、みんなで楽しく「ふくし ～ふだんのくらしのしあわせ～」について学びましょう。

対象：市内の小学5年生、6年生 / 定員：20名(応募多数の場合は抽選)

受講料：無料

申込み：7月5日(金)までに下記URLもしくは右記二次元コードから申込みフォームでご応募ください。<https://forms.gle/QT5gp4V1e6Bv1o7u7>



日時	体験内容	会場
8月25日(日) 午前9時30分～午後3時	①福祉体験 目や耳の不自由な人と一緒にカレーを作って食べよう	尾西庁舎 5階 調理室
9月21日(土) 午前9時30分～正午	②ユニバーサルスポーツ体験 「車いすツインバスケ」をやってみよう	いちい信金中央アリーナ (いちのみや中央プラザ体育館)
10月26日(土) 午前9時30分～午後3時30分 27日(日) 午後3時30分 ※どちらか一日のみの参加でも可。	③ボランティア体験 「赤い羽根共同募金」の街頭募金をお手伝い	尾西市民会館 (びさいまつり会場) 周辺
11月17日(日) 午前9時30分～午後3時 ※弁当持参	④ボランティア探検隊 「まちのやさしさ」を探してみよう	尾張一宮駅前ビル (i-ビル)4階

※都合により、内容や場所を一部変更する場合があります。

初心者向け料理教室 開催!

料理をしたことがない方に向けた、無理なく料理を始めることができる講座です。
家庭でもかんたんに作れる料理に挑戦します。

日時

①6月24日(月) 午前10時～12時30分
②7月1日(月) 午前10時～12時30分
※9時30分から受付開始

場所

一宮生活協同組合 生活センター
(末広2-19-1)

参加費

1,000円

対象

- ・65歳以上の市内在住の方
- ・両日ともに参加できる方
- ・普段、料理をしないという方

定員

12名
※人数が多い場合は抽選になります。

持ち物

マスク、エプロン、三角巾、手を拭くタオル、
台拭き、布巾、水分補給用飲料

駐車場

駐車場には限りがございますので、
できる限り公共交通機関などをご利用ください。



ぶっかけそうめん

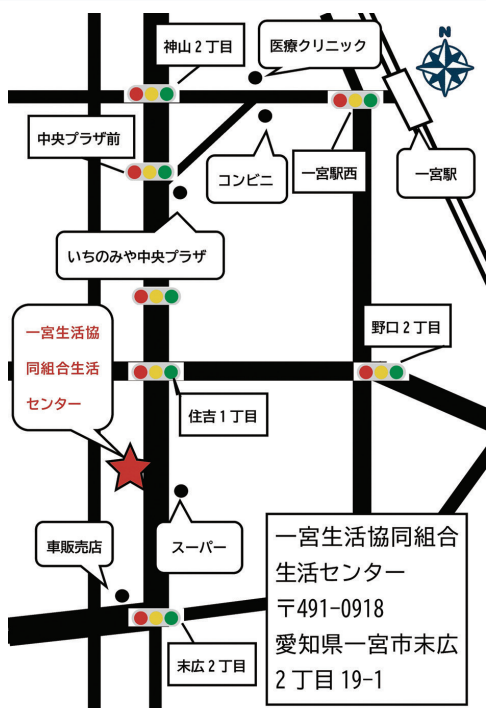


鯖缶の冷やし汁

画像はイメージです



鶏と冬瓜の梅スープ



一宮生活協同組合
生活センター
〒491-0918
愛知県一宮市末広
2丁目 19-1

～ 講師プロフィール ～



修文大学 健康栄養学部 管理栄養学科
准教授 小島 真由美 氏
専門分野：臨床栄養学
資格：管理栄養士、介護支援専門員
病院にて管理栄養士として従事後、社会
福祉法人に転職して「高齢者」「障害者」
「保育園児」の栄養食事管理に従事する。
2020年より現職に就任。

【申込み】

6月17日(月)までに、下記URLまたは
右記二次元コードを読み取り、申
込みフォームから応募。または本部
(Tel.85-7024) までご連絡ください。
URLはコチラ⇒<https://x.gd/P5Nfy>



支えあい通信



今伊勢町連区

地域の「お宝」を紹介します!



「支えあい通信を見て、私たちの活動も地域の『お宝』として紹介してほしい!」
今回は、ふれあいカフェに携わる方からお話をいただき、今伊勢町新神戸における取り組み（お宝）について取材しました。

横のつながりを大切に!

今伊勢町新神戸では、町内会、子ども会、老人クラブという縦割り状態から、横のつながりへ変えようと動き出しています。3か月に1回、その三者が中心に集まった運営会議が開かれ、三世代が交流できる企画を考えたり、地域の課題解決に向けた話し合いをしたりしています。その企画の一つとして、月に1回、「新神戸ふれあいカフェ」が開かれています。



「新神戸ふれあいカフェ」とは?

毎月第3日曜日、新神戸公民館で開かれています。老人クラブのメンバーが中心となって運営しており、当初は高齢者向けのサロンで出前講座を中心とした内容でしたが、1年程前からパンやヨーグルトなどのモーニング形式を取り入れ、令和6年3月に初めて親子講座が行われるなど、三世代交流ができる場となりました。防災や家族に関する講座が企画され、参加される皆さんが楽しみながら学び、気軽に相談できる居場所として取り組んでいます。



(高齢者向け)防災について学ぶ

スマートフォンや動画を使い、災害時に正しい行動ができるのかをシミュレーションしたり、注意すべきことを確認したり、楽しみながら学んでいます。



(親子講座)朗読劇を通して意義を伝える

子どものいじめや不登校、親の育児ストレスなどの問題に対し、ふれあいカフェが解決に向けて意義があると日常会話形式で伝えていきます。「このふれあいカフェは、高齢者と若い世代が互いに支えあう関係を作ることが目的である」と劇で紹介していました。



令和6年は、8月と11月に親子講座の企画を予定しています。

主催者としての思い「地域で子どもを育てることが願い」

この地域には、元教員、カウンセラーといった専門職や防災サークルなど、素晴らしい人材や人脈がある方々がたくさんいらっしゃり、市外の方も活動に協力してくださっています。「絆をつくり、人材を活かして地域課題に徹底して取り組みたい」との熱い思いがあります。

取材を終えて…

分かりやすい朗読劇や面白い動画を取り入れるなど、話し合いを重ねながら参加しやすい工夫がされていることがよく分かりました。取材中にも参加者から笑い声が聞こえてきました。主催者の熱い思いが、子どもたちにも届いていくと思います。今後も、どのような活動に発展していくのか楽しみです!

皆さまのご支援・ご協力ありがとうございました

令和5年度 赤い羽根共同募金最終実績 (実施期間:令和5年10月1日~令和6年3月31日)

募金種別	目標額 (円)	募金額 (円)	達成率 (%)
戸別募金	31,000,000	27,103,520	87.4
法人・個人大口募金	8,600,000	7,504,438	87.3
学校募金	1,400,000	1,089,219	77.8
街頭募金	500,000	450,850	90.2
職域募金	400,000	386,349	96.6
イベント・窓口募金等	500,000	523,480	104.7
合計	42,400,000	37,057,856	87.4



街頭募金の様子



お寄せいただいた募金については、市内の生活課題や地域課題を解決するためのさまざまな福祉活動のほか、県内の社会福祉施設への支援や災害時における「災害ボランティアセンター」の設置・運営など、被災地支援にも役立てられます。

令和6年度につきましても、“じぶんの町を良くするしくみ”に引き続きご協力よろしくをお願いいたします。

多額のご寄付をいただいた法人・個人の皆さまに、県共同募金会長から感謝状が贈呈されました。

一宮市職員労働組合 / 有限会社マガジン / 株式会社マサノ / 株式会社星和 ミカドグループ / 学校法人愛知真和学園 大成中学校・高等学校 / 一般社団法人一宮市医師会 / 尾張猿田彦神社 / 大野哲男 / 田中利雄 / 鈴木日出男 / 匿名1件

(敬称略・順不同)

一宮市共同募金委員会

ボランティアマッチングイベント

ボラまっちー宮 を開催しました!

3月3日(日)午前11時から午後3時30分まで、オリナス一宮で行った本イベント。今回は「まちの宮市」と同日開催したこともあり、会場内は大にぎわいで254名の方にお越しいただきました。

出展したボランティアの方からも「多くの方に活動を知ってもらえてよかった」「ほかのグループの取組みも、交流の中で知ることができた」などのお声をいただきました。

しかしながら、実際にマッチング成立したところは少なかったようです。「ボランティアをしたい人」と「活動に参加してほしいボランティアグループ」をマッチングすることの難しさをあらためて実感しました。今後もイベントなどを行い、ボランティアの楽しさを広くお知らせし、だんだんとボランティア活動に関心を持つ方を増やしていきたいと思っております。お楽しみに!



ケアマネジャーの仕事 ～地域での暮らしを応援します～

ケアマネジャー(介護支援専門員)は、介護保険制度が創設された当初より、適切な介護サービスを受けられるよう介護を必要とする人と、サービスを提供する事業者をつなぐ役目を担ってきました。

介護が必要になっても、住みなれた地域でできるだけ自立した生活をおくれるように、その相談内容は多岐にわたります。今回は、そんなケアマネジャーの仕事について紹介します。

ケアマネジャーの主な役割

- ・本人、家族からの相談対応
- ・ケアプランの作成
- ・サービス事業者や関係機関との連携、調整
- ・介護サービスの関わる給付管理

介護に関するだけでなく、医療との連携や地域とのつながりも意識し、幅広い視点で本人の暮らしを支えています。



日常の業務の流れ



最近、物忘れが多くなって…

歩くのがつらくなってきたわ。

①相談受付

本人や家族から現在の生活や介護の困りごとなどについて相談を受けます。介護保険サービスを利用する場合は、「要介護認定」を受ける必要があるため、情報提供や援助を行います。

②困りごとの整理(アセスメント)

自宅を訪問し、本人や家族と面談。現在の生活状況を把握し、どのような生活を望んでいるか聞き取る中で、困りごとについて整理し、現状の課題を分析します。

③ケアプランの作成

希望する生活の実現や自立した生活を送るために、適切な介護サービスの利用を組み合わせたケアプランを作成します。サービス事業者の紹介や、サービスの内容、日時などの調整を行います。

⑤モニタリング

少なくとも月に1回は自宅を訪問し、本人の健康状態やケアプランの実施状況を確認し、必要に応じてケアプランの見直しを行います。

④サービス事業者等との連携

サービス事業者や主治医などとケアプランを共有し、サービス担当者会議の開催などにより支援の方向性を確認します。それぞれの専門性を活かして本人の暮らしを支えます。

ケアマネジャーになるには？

年1回実施
次回10月13日(日)

STEP1「介護支援専門員実務研修受講試験」を受験、合格
→受験するためには、介護福祉士、社会福祉士などの資格取得後、5年以上かつ900日以上の実務経験が必要です。
相談援助業務の実務経験による方法もあります。

STEP2「介護支援専門員実務研修」を受講、修了

ケアマネジャー資格取得!!



作成したケアプランにより、利用者の生活や健康状態が改善したり、本人や家族から感謝されるなど、やりがいを感じることも多い仕事です。





ボランティア紹介リレー

第32回

あいみん
テラス

さん
SUN♡
すまいる

今回は「一般社団法人あいみんテラス」さんからの紹介で、「さんSUN♡すまいる」さんをご紹介します。3月12日(火)に開かれた「赤ちゃんサロン」におじゃまして取材してきました♪

「さんSUN♡すまいる」ってこんな団体

女性のライフサイクルの中で大きな変化をもたらす、妊娠・出産。産後うつ、乳児虐待、夫婦不和など社会的にも問題になっています。地域で活動する助産師・看護師として、母となった女性に寄り添い、産後の不安を少しでも減らしていただけることを目的として活動しています。

主な活動

産前産後の不安な気持ちを少しでも減らせるよう、助産師・看護師・歯科衛生士・産後ドゥーラとしての専門知識や先輩ママとしての経験を活かして相談に乗ったり、同じ悩みを持つママ同士の交流の場を開いたりしています(「赤ちゃんサロン」「産後のお守りサロン」「離乳食教室」など)。ランチ付きの開催もあり、リラックスした雰囲気でお話しいただけるように工夫をしています。



個別相談に応じる代表沖野さん

赤ちゃんサロンレポート

3月12日に、市民活動支援センター内で開催された「赤ちゃんサロン」に参加した様子をお伝えします！参加するには事前申し込みが必要なので、さんSUN♡すまいるさんのウェブサイトをご確認ください。対象は、1歳半までのお子さまがいる方(上のお子さまは同伴可)で、年齢層も近めのママたちが参加されている印象でした。

この日は4組の親子(生後6か月～1歳4か月の赤ちゃん和妈妈)が参加されました。会場は会議室ですが、かわいいマットが敷かれるので赤ちゃんも安心です。

はじめに個別相談で、気になることを助産師さんに相談。専門家と先輩ママ、両方の視点でアドバイスをしてくれます。参加者の方は、悩みを分かってもらえるだけでも安心した様子でどンドン話をされていました。赤ちゃん用の体重計で体重測定も行われます。継続して参加することで、信頼できる助産師さんに成長をみてもらうこともできます。



個別相談が終わったら、輪になって交流会が始まります。この日のテーマは「産前産後、育児休暇に関すること」パートナーの育休や二人目以降の出産に関する不安、大変だったことなどを話されました。経験者は「そうそう、それが大変だった」と共感され、そうでない方はこれから待ち受ける状況を真剣に、楽しそうに聞いていました。



終始アットホームな雰囲気

市民の皆さまへ

一昔前を振り返ると、あらゆる面で情報は少なく、周りの方の知恵と力を借りて手探りで子育てされていました。今は、すぐに情報を得られる便利な時代ですが、情報迷子になられ、さらに不安になられる方も少なくありません。

また、人との繋がりが希薄になり、孤立して子育てされている方もみえます。

そんな状況を救えるのは、すぐ近くにいる方の存在だと思っています。

子育て世代の方に、どうぞ声をかけてください。たった一声、挨拶で救われる方もみえると思います。

子育て世代の皆さん、周りの方に委ねる力を身につけてくださいね。

「さんSUN♡すまいる」さんウェブサイト⇒<https://sansuma138.com/>



おすすめ福祉の本

わたしたち手で話します



図書館で借りることができます。

フランツ=ヨーゼフ・ファイニク/作 フェレーナ・バルハウス/絵
ささきたづこ/訳 あかね書房

いつもは気がつかなくても家のなかや外ではいろいろな音がしています。小鳥や虫の声。自動車や電車の走る音。音楽や放送やサイレン。テレビやチャイムや電話やインターホンなど。そういうものが聞こえないと、毎日の生活はどうなるのでしょうか？でも、耳が不自由でも楽しいことはこんなにいっぱいあるのです。この絵本を読みながら、それを自然と経験してもらえたらと思います。

愛知県立木曽川高等学校総合ビジネス科では「地域との協働」をテーマに科目「課題研究」に取り組まれているとのこと。今回はその取り組み内容について紹介します。

「総合ビジネス科」ってどんな学科？

「商業」に関する知識や技術の修得だけでなく、社会性・コミュニケーション力を高めるための学習活動を取り入れ、地域と連携しながら地域課題の解決につながる活動をされています。

木曽川高校×AEON 商品開発にチャレンジ

令和2年度から愛知県が行う「地域協働ビジネススキルアップ事業」に参加しています。令和5年度は株式会社ロピアのご協力のもと、本校総合ビジネス科3年生が考案したカップデザート「#気持ちホット♡コーヒーパフェ」が商品化され1月19日（金）から21日（日）までの3日間、9,000個限定で東海4県（愛知・岐阜・三重・静岡）全66店舗のイオンにて販売されました。商品化までに、市場調査の一環として、大規模な保護者アンケートを実施しました。あたたかい飲み物との相性を考えるなど、しっかりとこだわりのある商品になりました。今年度はフジパン株式会社のご協力のもと、ドーナツの商品化に向けて県内の商業を学ぶ高校生が商品アイデアを絶賛考案中です。冬季の販売を予定しています。

ぜひご期待ください！



売り場レイアウトも自分たちで考えました！

中学生へのビジネスマナー講座

近隣の中学校からお声がけいただき、卒業を控えた中学3年生に対して『高校生によるビジネスマナー講座』を行っています。総合ビジネス科3年生が、3年間の学習内容や自らの進学試験や就職試験の実体験を基に考えた特別プログラムをお届けしています。中学生に対して伝えることで、商業の学びの確認にもつながっています。



ビジネスマナー講座の様子（木曽川中学校）



地元の魅力発信！いちのみやPR動画

令和4年度から一宮商工会議所と連携教育を行っています。令和5年度は一宮商工会議所の観光振興事業の一環として、総合ビジネス科2年生が「いちのみやおススメ体験スポット動画」の撮影および編集を行いました。施設の選定から取材、動画の撮影・編集を生徒主体で行いました。取材を通して、これまで知らなかった一宮の魅力を新たに発見することができました。

完成作品は一宮商工会議所公式YouTubeおよび公式観光インスタグラムにてアップロードされています。ぜひご覧ください。



YouTube



Instagram

取材を終えて・・・

総合ビジネス科と聞くと商業の勉強をしているイメージですが、調べてみると「地域をよく知り、地域とともに、地域を盛り上げる地域協働の学びの場」であることが分かり、取材させていただきました。「地域協働ビジネススキルアップ事業」は今年度で終了ですが、今後新たな活動を検討予定とのこと。楽しい取り組みを広げていただき、ぜひまたお話を聞かせていただきたいです。

令和6年度 新入職員紹介

今春、新たに2名が一宮市社会福祉協議会の職員として加わることになりました。皆さんに早く顔と名前を覚えていただくため、簡単ですが紹介させていただきます。

- ①立山駿太郎(たてやましゅんたろう)
- ②プロ野球観戦
- ③エビチリ
- ④真面目
- ⑤精一杯頑張りますので、
よろしく願いたします。

- ①氏名
- ②趣味
- ③好きな食べ物
- ④性格
- ⑤ひとことPR

- ①中村愛香(なかむらあいか)
- ②ヨガ・韓国ドラマを観ること
- ③パスタ
- ④マイペース
- ⑤地域のみなさんが安心して暮らせるよう
心をこめて業務に取り組みます。



どうぞよろしくお願いいたします。

車いす
使用の職員
発信

車いす いっしょに



第22回 「新幹線での一人旅」

昨年12月、新幹線で東京・渋谷へ行ってきました。車いすで外出しはじめた頃には想像もしていなかった一人旅。行動範囲が広がった喜びがある一方で、不慣れた場所で過ごす難しさも経験した日でした。

混雑するなかでも、駅員の方は丁寧に誘導してくださり、安心感がありました。しかし駅に限らず、動線の少なさは東京でも普段の生活環境とさほど変わりなく、戸惑うことも多かったです。車いすでまっすぐ進むことすら大変で、駅の出口から比較的近い「ハチ公像」にたどり着くのにもかなり時間がかかりました。通りの混み具合はとにかく想像以上で、すでに降りたのにまだ満員電車に乗っているかのような感覚でした。

移動中には、ベビーカーを押しながら申し訳なさそうにエレベーターに乗る方や、大荷物で移動する観光客。外国籍と思われる子連れの方もみかけました。目的や状況の異なる人々が、お互い快適に行動することは簡単ではありません。周りへの気配りの大切さをあらためて感じました。(小鹿)



ユニバーサルスポーツの紹介

「車いすハンドボール」

「車いすハンドボール」は、女性1人を含む4人または6人のチーム(ゴールキーパーを含む)に分かれて行われます。試合時間は選手の人数によって異なり、6人制のほうが長い設定です。他の競技と同様に選手のクラス分けがありますが、身体の機能により制限されないため、参加対象は幅広いといえます。選手の交代が自由で、攻守も常に入れ替わるスピード感が特徴です。使用される車いすには転倒防止の装置や、スポークへのカバーを備えることが決められているほか、ボールもやわらかく、選手が安全にプレーできるようルールが配慮されています。





広報ボランティアのページ

●担当ボランティア／日置雅夫・岩下茂子

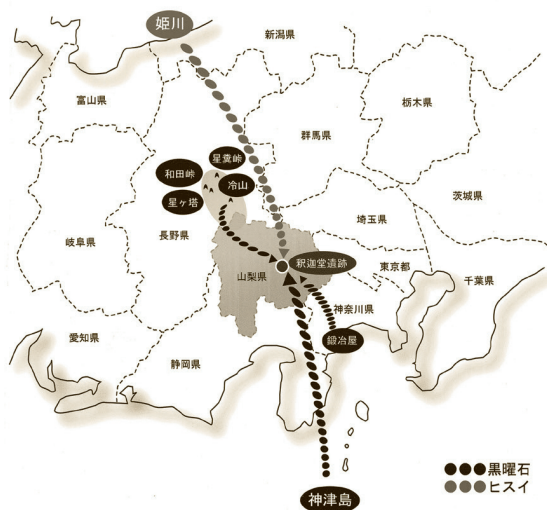
縄文時代の物流（土器、ヒスイ、黒曜石）

山梨にある縄文中期（5,500年前～4,500年前）の遺跡

1980年2月に、山梨県の甲府盆地の東部にある釈迦堂遺跡が発掘調査されました。その結果、旧石器時代、縄文時代、古墳時代、奈良時代、平安時代の遺構、多量の土器、石器などの遺物が発見されました。特に、縄文時代の遺構・遺物は豊富でした。

縄文土器については、大阪、愛知、長野、関東、東北で出土した土器と同様のものが見ついています。また、ヒスイは新潟県の姫川（糸魚川市）から運ばれ、黒曜石は長野県の和田峠や星ヶ塔、伊豆諸島の神津島から運ばれています。また、千葉市にある賀曽利貝塚もヒスイが糸魚川から、黒曜石が神津島から運ばれています。

縄文時代は、東北から関東、山梨、長野にかけて大いに繁栄し、物流や人の交流があったようです。戦争もない平和な時代だったと考えられています。（日置）



縄文時代のヒスイ・黒曜石の流通
釈迦堂遺跡博物館の展示案内（2020.4）より

能登半島地震の発生を受けて ボランティア活動について考える(その1)

はじめに、この度の令和6年能登半島地震により被災された皆さま、ならびにそのご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

1月1日という特別な日に前触れなく発生した今回の地震に、天災が我々の都合とは関係なしに襲い掛かってくるという現実をまざまざと見せつけられました。我々の仕事仲間も何人が旅行中に現地で被災した方がいまして、一気に現実的で身近に感じる出来事となりました。

今回は振り返りの機会として、災害ボランティアとして我々にもできることについて簡単ではありますがお伝えしたいと思います。

そもそも災害ボランティアとは？

災害ボランティアが大きく注目されるようになったのは阪神淡路大震災の頃からと思います。

当時はまだまだ、何をどのように活動を進めて行けば良いかは手探り状態のため、いろんな問題も発生しました。また、災害ボランティアの意識も育っておらず、ボランティアを行う人自身も自分の事は自分で行う、という現在では当たり前の意識もなく、何で現地まで歩いていかないのか？ボランティアの食料がなぜ準備してないのか？等、ボランティアをする側と受け入れる側とでトラブルも多かったと聞いています。

この問題を受けて、その後、自治体等でいろいろな講習会を開いたりすることで、災害時のボランティア活動について学ぶ機会を提供することが始まりました。（岩下）

※次号へつづく

★車いすの貸し出し

ご利用ください

対象者：身体に障害のある方、けがをされた方など
一時的に利用が必要な方にお貸しします。
利用料：無料
貸出場所：本部・尾西支部・木曾川支部・大和事務所



子ども用



大人用

ボランティアセンターにご登録を!

登録すると、ボランティアに関する情報発信のほか、以下の特典もあります

★会議室の利用

尾西支部・木曾川支部・大和事務所の会議室やボランティア室が利用できます。

★用具の貸し出し

高齢者疑似体験セットなどの福祉用具や、レクリエーション用具、マイクセットなどが利用できます。



デジピンゴDX



ドレミパイプ



スカイクロス

あなたの力を貸してください!!

ボランティアさん大募集

● ちょこボラ協力会員

自分のできる範囲で、困っている高齢者に、“ちょこっと”したお手伝いをしてみませんか?
企業・法人会員も募集中

● 一芸ボランティア

施設やサロンなどで、歌や踊り、手品などの披露や、小物作りの指導などを行っていただけの方を募集中

● おもちゃ図書館運営ボランティア

市内に2か所(浅井町、丹陽町)あるおもちゃ図書館で、受付やおもちゃの作成などをしていただけの方を募集中

【問合せ】本部 Tel.85-7024

?応募!クイズ

図書カード
¥1,000

「ふくし ～ふだんのくらしのしあわせ～」を学ぶ、全4回のこども向けボランティア講座の名前は? ヒント7ページ

ご応募いただいた方の中から抽選で5名の方に図書カード(1,000円分)をプレゼントします!

①クイズの答え ②本紙に対するご意見・ご感想
③住所 ④氏名 ⑤年齢
を明記のうえ、ハガキにてご応募ください。

【令和6年6月28日(金)必着】

〒491-0858 一宮市栄3丁目1番2号 尾張一宮駅前ビル4階(一宮市社会福祉協議会内)「いちのみやの社会福祉」編集係あて

2月号クイズ当選者発表(応募総数98通)真野様(西成) 岩間様(西成) 椎葉様(萩原町) 北畠様(神山) 岸様(千秋町)おめでとうございます。

クイズの答え:ユニバーサル

市内の福祉・保健・医療関係者の皆さまへ

広告募集中

【掲載枠】1枠 縦55mm×横80mm	最大4枠
【掲載料】1回1枠 20,000円	複数枠掲載可

※広告掲載に関するお問い合わせは、本部(Tel:85-7024)まで



本紙は目の不自由な方のために音声版・点字版広報も発行しております。ご希望の方は本部まで

ウェブサイト <https://www.138sk.org>